



2022年6月22日

2022年5月時点（第13回）国内宿泊旅行ニーズ調査 今現在旅行の予定がある人は調査開始から過去最高値 今夏（6月～8月）の旅行も約4割が意欲的

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘）の観光に関する調査・研究、地域振興機関『じゃらんリサーチセンター』（センター長：沢登 次彦）は、国内宿泊旅行マーケット全体の活性化への貢献を目的に、旅行者の旅行意欲や行動予定を定期的に聴取して広く公開する「国内宿泊旅行ニーズ調査」（旧称「新型コロナウイルス感染症による旅行市場への影響」調査）を2020年3月より継続して実施しており、調査内容とともに最新の結果をご報告致します。（第12回目までは「新型コロナウイルス感染症による旅行市場への影響」調査として発表）

■ 5月時点の調査データの概要

国内宿泊旅行について予定している人は、3月から6.2pt増加して29.6%に（P3）

○2022年5月末時点で今後の国内宿泊旅行について「予定をしており、気を付けながら行く」、「予定をしており、気にせず行く」の合計は29.6%。2020年3月の調査開始以来の最高値となった。

今夏（お盆除く6月～8月）の旅行について37.8%が意欲的（P4）

目的は温泉・露天風呂、食事がいずれの世代でも上位で、子育て世代はテーマパークも上位（P5・6）

○お盆の時期を除く夏の時期について、「旅行に行く予定である」または「まだ予定はないが旅行に行きたい」と回答した人の割合は全体の37.8%だった。

○「旅行に行く予定である」人または「まだ予定はないが旅行に行きたい」とした人の目的は「温泉や露天風呂」、「地元のおいしいものを食べる」がいずれの年代でも上位だった。子育て世代の30代および40代では「テーマパーク」が3位。

■ 現在旅行予定がある人は過去最高値である3割。現在の旅行意欲は高止まり。



研究スタッフ
五十嵐 大悟

国内宿泊旅行について意欲を持つ人は前回調査（2022年3月）と同様に6割程度を維持しました。また3割の人が今後の旅行の予定があると回答しており、これは2020年3月の調査開始以来の最高値でした。コロナ禍前に実施した旅行動態調査である「じゃらん宿泊旅行調査2020」での2019年に1回以上旅行に行った人の割合が54%であったことを踏まえると、現在の旅行意欲の値は相当に高い水準にあると考えられます。

6月10日からは海外ツアー客の受け入れも再開したように、旅行に関しては着実に緩和ムードが広がっています。国内宿泊旅行に関しても大きな変化がない限りはコロナ禍で控えていた旅行を再開する流れが進むでしょう。今夏の国内宿泊旅行については、回答者全体の実に4割程度が意欲的でした。年代別にみると特に20代が活発であり、同行者には「友人・知人」を挙げる割合が1位で、30代と40代の子育て世代では目的に「テーマパーク」を挙げた割合も高いです。

2022年6月22日

コロナ禍でできなかった交友活動や家族行事を行いたいという思いが表れていると言えるでしょう。

■ 調査概要

調査目的

旅行者の旅行意欲や行動予定を定期的に聴取し、地域および宿泊施設を主とした具体的施策に役立て、旅行マーケットの拡大に貢献する。

調査対象者

マクロミル会員モニター全国の20歳～79歳 1,652人

性別および年代（20・30代／40・50代／60・70代）による均等割付を実施

調査時期

第13回：2022年5月27日(金)～2022年5月29日(日)

(過去の調査時期)

第1回：2020年3月19日(木)～2020年3月20日(金)
第2回：2020年3月26日(木)～2020年3月27日(金)
第3回：2020年5月15日(金)～2020年5月16日(土)
第4回：2020年10月30日(金)～2020年10月31日(土)
第5回：2021年1月13日(水)～2021年1月14日(木)
第6回：2021年3月23日(火)～2021年3月24日(水)

第7回：2021年5月28日(金)～2021年5月29日(土)
第8回：2021年7月12日(月)～2021年7月14日(水)
第9回：2021年9月27日(月)～2021年9月28日(火)
第10回：2021年11月24日(水)～2021年11月25日(木)
第11回：2022年1月28日(金)～2022年1月29日(土)
第12回：2022年3月28日(月)～2022年3月29日(火)

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

2022年6月22日

■ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大から現在（2022年5月末時点）までの国内宿泊旅行の意欲の推移

国内宿泊旅行の意欲は60%以上をキープ

「予定をしており、気にせず行く層」「予定をしており、気を付けながら行く層」の合計は6.2pt増加して29.6%に

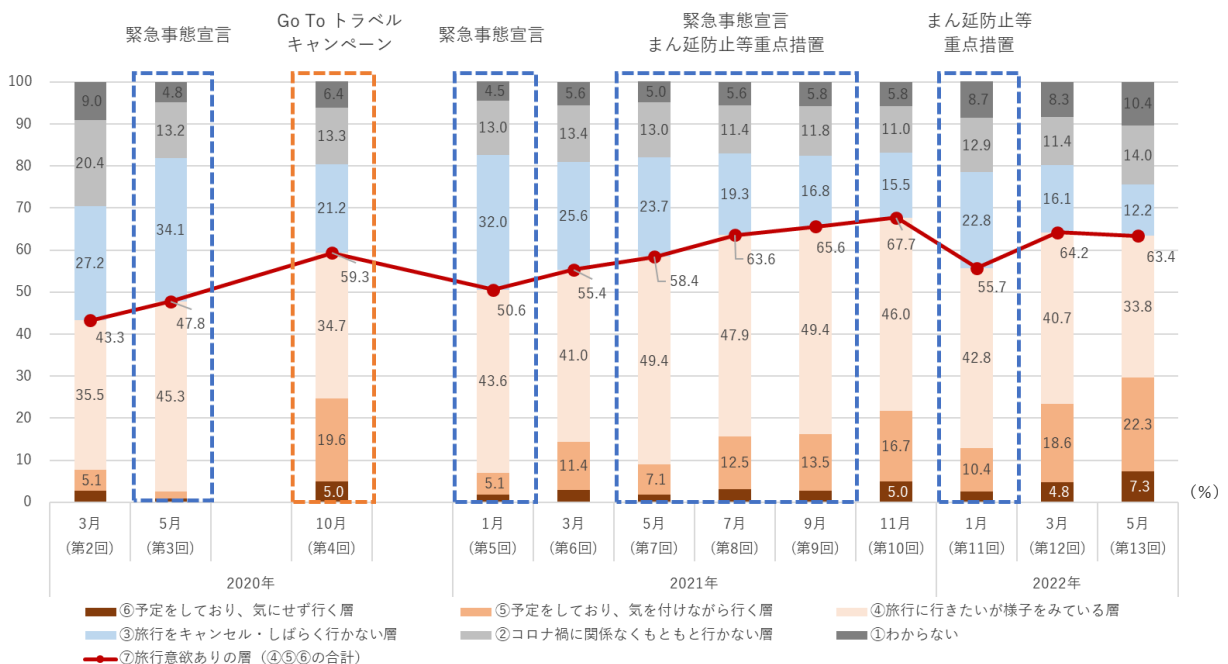
■ 2020年以降の国内宿泊旅行意欲の時期別変化

新型コロナウイルス感染症の影響下の国内宿泊旅行に関する旅行意欲について、時期ごとの変化を分析した。

今回調査（2022年5月末）では「④旅行に行きたいが様子を見ている層」「⑤予定をしており、気を付けながら行く層」「⑥予定をしており、気にせず行く層」を合計した「⑦旅行意欲ありの層」（赤い折れ線）は前回調査（2022年3月末）からほぼ横ばいで63.4%だった。

「⑤予定をしており、気を付けながら行く層」「⑥予定をしており、気にせず行く層」の合計、すなわち実際に旅行を予定している人の割合は前回から6.2pt増加して29.6%となり、アンケート回答者全体の約3割が旅行を予定していると回答した。

Q.今後のレジャーの計画についてお聞きします。新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、現時点でのお気持ちに近いものをお選びください。
※複数予定しているものがある場合は、直近で予定しているものについてお答えください。【国内宿泊旅行】（全体／単一回答）



4.0%以下の数値は表示を省略した

※各項目は以下の回答を合計した

- ①わからない：「わからない」
- ②コロナ禍に関係なくもともと行かない層：「新型コロナ感染症に関係なく、もともと行きたいと思わない・機会がない」
- ③旅行をキャンセル・しばらく行かない層：「予定をしていたが、キャンセルした(したい)」「予定はないが、気になるのでしばらく行ってみるつもりはない」
- ④旅行に行きたいが様子を見ている層：「予定をしていたが、延期した(したい)」「予定をしていたが、どうするか考えている」「予定はないが、事態が落ち着いたら行きたい」「予定はないが、むしろ積極的に行きたい」
- ⑤予定をしており、気を付けながら行く層：「予定をしており、気を付けながら行く」
- ⑥予定をしており、気にせず行く層：「予定をしており、気にせず行く」

※いずれの調査も n=1,652

※第1・2回調査はいずれも同じ月内（2020年3月）に行ったため、第2回調査データを利用した

2022年6月22日

■ 2022年の夏（お盆を除く）の国内宿泊旅行の動向について

全体の37.8%が夏の国内宿泊旅行への意欲あり

温泉やグルメが人気上位だが、子育て世代はテーマパークを挙げた割合も高い

■ 夏の旅行意欲

2022年の夏の国内宿泊旅行について「旅行に行く予定である」と回答した人は全体の17.9%で、「まだ予定はないが、旅行に行きたい」と回答した人は19.9%であり、これらの旅行に前向きな人（予定・希望者）は全体の37.8%だった。

Q5 国内宿泊旅行についてお聞きます。今後の国内宿泊旅行について、いつ頃予定があったり、行きたいと思いますか。【2022年 夏（6月～8月） お盆の時期を除く】（全体／単一回答）

	調査数	旅行に行く予定である	まだ予定はないが、旅行に行きたい	旅行するつもりはない	わからない・感染状況による	新型コロナ感染症に関係なく、もともと行きたいと思わない・機会がない
全体	(1,652)	17.9	19.9	31.6	16.6	14.0
男性	(826)	18.5	19.4	30.3	15.6	16.2
20代	(81)	16.0	24.7	19.8	14.8	24.7
30代	(195)	19.0	24.1	28.7	12.8	15.4
40代	(111)	13.5	18.0	29.7	17.1	21.6
50代	(165)	14.5	17.0	35.8	21.2	11.5
60代・70代	(274)	23.4	16.4	31.4	13.9	15.0
女性	(826)	17.3	20.3	32.9	17.7	11.7
20代	(104)	21.2	28.8	27.9	18.3	3.8
30代	(172)	23.3	17.4	34.9	17.4	7.0
40代	(147)	12.2	22.4	31.3	20.4	13.6
50代	(129)	12.4	20.2	31.8	20.2	15.5
60代・70代	(274)	17.2	17.9	35.0	15.0	15.0

(%)

※本項目は別途聴取した現時点での気持ちに関する設問において「新型コロナ感染症に関係なく、もともと行きたいと思わない・機会がない」と選択した231人を除外した1,421人に対して「旅行に行く予定である」「まだ予定はないが、旅行に行きたい」「旅行するつもりはない」「わからない・感染状況による」という選択肢から単一回答を得たものであるが、当該231人については「新型コロナ感染症に関係なく、もともと行きたいと思わない・機会がない」という選択肢を選択したものとみなして、アンケート総数の1,652に対する割合として集計した。

	男/女計 +10pt以上
	男/女計 +5pt以上
	男/女計 -5pt以下
	男/女計 -10pt以下

2022年6月22日

■ 今夏の旅行目的

今夏の旅行について、予定・希望者から旅行目的を聴取し、性・年代別に分析したもののうちそれぞれ上位5位を表にした。いずれの年代でも「温泉や露天風呂」や「地元のおいしいものを食べる」が上位にあるが、30代および40代の子育て世代では「テーマパーク」が3位にランクインした。

20代は「宿でのんびり過ごす」が2位に、「買い物・アウトレット」が4位にあるのが特徴的である。50代および60代・70代は共通して「名所・旧跡の観光」が3位となっている。

現在、希望または予定されている、国内宿泊旅行について、どのような旅行目的を考えていますか。【2022年 夏（6月～8月） お盆の時期を除く】（国内宿泊旅行予定・希望者／複数回答）

順位	全体 (n=624)	(%)	20代 (n=85)	(%)	30代 (n=154)	(%)	40代 (n=86)	(%)	50代 (n=94)	(%)	60代・70代 (n=205)	(%)
1	温泉や露天風呂	42.3	温泉や露天風呂	37.6	地元のおいしいものを食べる	33.8	温泉や露天風呂	37.2	温泉や露天風呂	48.9	温泉や露天風呂	53.7
2	地元のおいしいものを食べる	36.9	宿でのんびり過ごす	35.3	温泉や露天風呂	28.6	地元のおいしいものを食べる	36.0	地元のおいしいものを食べる	41.5	地元のおいしいものを食べる	39.5
3	宿でのんびり過ごす	29.6	地元のおいしいものを食べる	31.8	テーマパーク*	27.3	テーマパーク*	29.1	名所・旧跡の観光	30.9	名所・旧跡の観光	31.7
4	名所・旧跡の観光	23.1	買い物・アウトレット	24.7	宿でのんびり過ごす	26.0	アウトドア*	27.9	宿でのんびり過ごす	29.8	宿でのんびり過ごす	31.2
5	まちあるき・都市散策	20.2	アウトドア*	23.5	アウトドア*	22.1	宿でのんびり過ごす	26.7	まちあるき・都市散策	29.8	まちあるき・都市散策	21.5

* テーマパーク（遊園地・動物園・博物館など） アウトドア（キャンプ・海水浴・釣り・登山など） (%)

2022年6月22日

■ 今夏の旅行同行者

今夏の旅行について、予定・希望者に対し、誰と一緒に旅行に行く予定かについて聴取したものを、年代別に分析しその上位5位を一覧にした。全体としては「夫婦旅行」が28.2%を占めたが、これは50代および60代・70代の回答数が大きいことに起因している。

20代では「友人・知人との旅行」が、30代および40代では「子連れの家族旅行（18歳未満の子との旅行）」がそれぞれ1位である。

現在、希望または予定されている、国内宿泊旅行について、どなたと旅行に行く予定ですか。当てはまるものをお選びください。※複数検討や予定をしている場合は、一番希望している同行者を選択してください。【2022年夏（6月～8月） お盆の時期を除く】（国内宿泊旅行予定・希望者／単一回答）

順位	全体 (n=624)	(%)	20代 (n=85)	(%)	30代 (n=154)	(%)	40代 (n=86)	(%)	50代 (n=94)	(%)	60代・70代 (n=205)	(%)
1	夫婦旅行	28.2	友人・知人との旅行	27.1	子連れの家族旅行*	44.2	子連れの家族旅行*	47.7	夫婦旅行	26.6	夫婦旅行	48.3
2	子連れの家族旅行*	23.6	カップル旅行	21.2	一人旅	14.9	夫婦旅行	19.8	子連れの家族旅行*	20.2	その他の家族旅行	12.2
3	一人旅	12.3	夫婦旅行	15.3	夫婦旅行	14.3	一人旅	10.5	その他の家族旅行	14.9	一人旅	10.7
4	友人・知人との旅行	10.7	一人旅	14.1	カップル旅行	12.3	カップル旅行	7.0	一人旅	11.7	友人・知人との旅行	10.7
5	カップル旅行	9.3	子連れの家族旅行*	9.4	親連れの家族旅行	5.8	未定・わからない	4.7	友人・知人との旅行	11.7	子連れの家族旅行*	5.4

* 子連れの家族旅行（18歳未満の子との旅行）

(%)

今回はお盆を除く夏の時期にスポットを当てて紹介しましたが、次回7月実施の調査の結果発表ではお盆の時期についてより詳しくご紹介する予定です。

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、メディア&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>